

映画上映と講演

LL研究室主催

第3回外国語教育研究会開く



左から高橋教授、本学非常勤講師の一角真由美さん、寺尾経済学部教授

録したドキュメンタリー映画『Famili'entret... (家族会議)』の上映と高橋慎也中央大学文学部教授が「ドイツの現代演劇と演出、言葉と身体...」をテーマに講演...

1月21日、サテライトキャンパスで専修大学LL研究室(室長寺尾格経済学部教授)主催の第3回外国語教育研究会が開催され、教員、学生のほか一般からも多数が参加した...

現代演劇における特異なスタイルの演出、力強いドイツ語の語感、現実と非現実の境目が曖昧な舞台空間、俳優の奇抜な身体表現などが描かれた映画に、参加者は新鮮な驚きを覚え、上映後の質疑応答では活発な質問がいくつも寄せられた...

2010年度補正予算

学校法人専修大学の2010年度補正予算は、12月15日開催の理事会・評議員会の議決を経て別表のとおり決定した。

資金収支補正予算

〔概要〕 予算規模は、前受金収入を含み、3億59億2053万円の増(当初予算比17.78%増)で39億2813万円となっている。

収入の部では、当年度収入合計が34億7633万円の増(同13.89%増)で28億5599万円の増(同28.5%増)で28億5599万円。前年度繰越支払資金は、24億4419万円の増(同107億2553万円となっている)。

消費収支補正予算

〔概要〕 消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が4億7156万円の増(当初予算比1.90%増)で2億9662万円。基本金組入額合計が2億9781万円の増(同216.77%増)で42億3464万円。消費収入の部合計は、24億2625万円の増(同10.33%減)で21億74万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が55億2680万円の増(同22.30%増)で30億8233万円。次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる消費支出の部では、消費支出の部では、31万円となっている。

学校法人専修大学 2010年度資金収支補正予算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (Income), 科目 (Item), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Revised Budget), 補正後予算額 (Final Budget). Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, etc.

Table with 4 columns: 支出の部 (Expenditure), 科目 (Item), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Revised Budget), 補正後予算額 (Final Budget). Rows include 人件費支出, 教育研究経費支出, etc.

学校法人専修大学 2010年度消費収支補正予算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで (単位:円)

Table with 4 columns: 消費収入の部 (Consumption Income), 科目 (Item), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Revised Budget), 補正後予算額 (Final Budget). Rows include 学生生徒等納付金, 手数料収入, etc.

Table with 4 columns: 消費支出の部 (Consumption Expenditure), 科目 (Item), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Revised Budget), 補正後予算額 (Final Budget). Rows include 人件費支出, 教育研究経費支出, etc.

備考 1. 消費収入の部「寄付金」には受贈・編入図書およびその他の受贈資産を含む。 2. 消費支出の部「人件費」には退職給与引当金繰入額を含む、「管理経費」には、それぞれ減価償却額を含む。

高 大 連 携

県立川崎高校 「1日体験入学」

12月22日、県立川崎高校の「1日体験入学」が生田キャンパスで行われた。参加した1年生240人は、大学紹介ビデオの観賞と、須加憲子法学部准教授による模擬授業を行った(写真①)。

聴講生修了式

2010年度高大連携聴講生の修了式が1月22日、生田キャンパスで行われた(写真②)。砂原由一ターが、「最前列で意図を行った」(写真③)。

高大連携協議会

2月5日、生田キャンパスで開かれ、協定校と本学合わせて34人の教員が「高大で考える学力保証」をテーマに意見交換を行った(写真③)。



砂原座長のあいさつのあと、上原正博法学部准教授が本学における英語教育の現状について報告し、続いて協定校の県立座間総合高校の柏木信一郎教諭、都立成瀬高校の寺嶋祐介教務主幹から各校における生徒の学力保証の取り組みについての報告がなされた。

昭和の初め、合同毛織事件に端を発して、公判で裁判長以下を忌避したために今村力三郎弁護士が被告とされた懲戒裁判が行われた。本巻はこの「今村懲戒事件」の東京控訴院における口頭弁論調査を原文そのままで収録。昭和7年5月に第1回口頭弁論が開かれ、同年6月の第7回で結審している。

この事件の焦点は裁判長の在廷命令に反して今村弁護士が退廷したのかどうかという点にあった。しかし、本巻の「序」で今村法律研究室の家永登室長は「この事件をたんなる裁判長の訴訟指揮の適否をめぐる事件、裁判所による弁護士懲戒の可否にかかる事件にすぎないと見たのでは、事件の本質、歴史的意義を見誤る」として、この事件の今日的意義を強調している。

本書は1998年1月に、経営学部6人の教員によって初版が刊行され、以来十数年にわたって全国の文系・理系大学等で情報基礎教育の教科書として利用されてきた。今回は、経営学部とネットワーク情報学部の教員で新しい教科書として稿が改められ、現版までの実績を引き継ぐ第5版として出版された。

本書は1998年1月に、経営学部6人の教員によって初版が刊行され、以来十数年にわたって全国の文系・理系大学等で情報基礎教育の教科書として利用されてきた。今回は、経営学部とネットワーク情報学部の教員で新しい教科書として稿が改められ、現版までの実績を引き継ぐ第5版として出版された。

専修人の新し い本

今村懲戒事件(五) 第四十巻



この事件の焦点は裁判長の在廷命令に反して今村弁護士が退廷したのかどうかという点にあった。しかし、本巻の「序」で今村法律研究室の家永登室長は「この事件をたんなる裁判長の訴訟指揮の適否をめぐる事件、裁判所による弁護士懲戒の可否にかかる事件にすぎないと見たのでは、事件の本質、歴史的意義を見誤る」として、この事件の今日的意義を強調している。

コンピュータ概論 情報システム入門 「第5版」



21世紀に入って世界の変化はますます激しく、環境・エネルギー・食料・資源など課題が山積されている。これらの解決策に共通するものが情報システムであることは明らかだと思われる。そうした背景にあって、本書はコンピュータ・ネットワークや情報システムに関する先端技術ならびに基礎や概念および今日に至った歴史を包括的に学ぶ教科書として編纂された。理解を容易にし、かつ学習意欲が持続するよう身近な話題から説き起こし核心に至るよう構成されている。

本書は1998年1月に、経営学部6人の教員によって初版が刊行され、以来十数年にわたって全国の文系・理系大学等で情報基礎教育の教科書として利用されてきた。今回は、経営学部とネットワーク情報学部の教員で新しい教科書として稿が改められ、現版までの実績を引き継ぐ第5版として出版された。

本書は1998年1月に、経営学部6人の教員によって初版が刊行され、以来十数年にわたって全国の文系・理系大学等で情報基礎教育の教科書として利用されてきた。今回は、経営学部とネットワーク情報学部の教員で新しい教科書として稿が改められ、現版までの実績を引き継ぐ第5版として出版された。